

食道癌患者における dual time point 撮影 PET/CT の有用性に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2009年1月から2017年12月の間に当院において食道癌に対して根治的手術を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

食道癌において、positron emission tomography/computed tomography (PET/CT)はリンパ節転移や遠隔転移の有無を判断する進行度診断や、化学療法・化学放射線療法の効果判定、再発診断に広く用いられています。当科では、放射能を持たせたブドウ糖を患者さんに投与してから約60分と約120分の2回撮像する dual time point 法でPET/CTを撮影しています。この dual time point 法PET/CTにより良性疾患と食道癌の判別能が高まることは以前から報告されております。今回の研究では、食道癌治療前に dual time point 法で撮影したPET/CTから得た情報が持つ食道癌の予後予測能について明らかにすることを目的としております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、既往歴、採血結果、病理検体診断結果、CT画像、PET/CT画像等の情報を、すべて対応表を作成した匿名化を行ったあとで研究に利用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

資料 3

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 講師 菅澤英一（研究責任者）

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216